

**緊急号外**

2015.12月  
子どもたちに豊かな放課後を！

**南連協だより**



otsu\_gakudo@yahoo.co.jp  
http://gakudo-shiga-otsu.jimdo.com

大津市内の児童クラブ保護者会からなる「大津市学童保育(児童クラブ)連絡協議会」発行

## 大津市長選挙特集

1月17日は大津市長選挙の投開票日です。  
立候補予定者に大津市の児童クラブ運営方針を聞きました！

### 大津市営児童クラブ運営方針に関する公開質問状(序文抜粋)

私たち大津市学童保育連絡協議会は、児童クラブに通う子ども達の保護者で組織する各クラブ保護者会の連絡協議組織です。保護者組織として40年以上に渡りより良い児童クラブを実現するため活動を続けてきています。児童クラブは、利用するすべての子どもたちにとってかけがえのない生活の場であると同時に、成長と発達を保障する大切な場です。共働き・一人親家庭などが増加するなか、我が子が安全で安心して放課後を過ごす生活の場を求める保護者の願いはますます高まっています。そんな中、児童クラブの狭隘化が激しくなるなど、近年、子ども達の放課後の生活環境が悪化してきています。私たちは昨年、狭隘化解消を要望する5,000筆におよぶ署名を行い、今年さらに議会や市議会議員への働きかけ(6月に議長あて要望書提出および全会派との懇談、7,8月に児童クラブ見学会(全会派参加))を行うなど劣悪な環境改善に取り組み、多くの市議会議員に議会において質問して頂くに至りました。私たちは大津市の施策である児童クラブ事業をより良くしていくために、貴方様に私たちの要望をご理解いただき、それについてどのようにお考えになり、実現していくかをお聞きしたいと考え本質問状を送付いたしました。

### (1) 児童クラブの狭隘化が進行している現状をどう打開されますか？ 回答受付順に左側から原文のまま掲載

市内の半数の児童クラブで国の定める面積基準を満たしておらず、市は経過措置で課題を先送りしています。昨年は5,000筆以上の声を添えて狭隘化解消を要望しましたが未だ狭隘化は解消されません。狭さゆえの児童間の争いが増え、業務負担増のために指導員も辞めていくという異常事態に陥っているクラブもあります。また、スペース確保のため「静養室」を廃止するクラブも多くあります。保育園が大量に作られたこともあり、児童クラブに大勢の児童が押し寄せる中、市の環境方針や国からの補助金が少ないことを理由に児童クラブを増設・新設せずに児童や指導員の負担増で凌ぐ、このような状態で良いのでしょうか？ 今後も人口の自然減や民間参入をただ待つだけなのか、それとも抜本的な対策ができるのか、お答え下さい。

#### かわもと勇氏

児童クラブは、仕事を持つ保護者にとって、子どもが安心できる生活の場であることから、受入れ可能人数を大幅に超過している数か所の児童クラブの実情などを的確に把握し、行政の責任として、必要な面積の確保に努めます。

#### こし直美氏

現状の保育環境が決して良い状態ではないことは十分に認識しており、狭隘化解消のために様々な方策が必要と考える。希望する児童全員の受け入れを維持しながら、児童の放課後時間ができる限り良い環境になるよう、改善に取り組んでいく。  
1人あたりの面積が1.65平米の基準を満たすための方策としては、すでにある施設利用・空き家等の利用などを含め、様々な可能性を追求し、可能な児童クラブから順次、取り組んでいく。

#### つただ恵子氏

人口減少が進捗するわが国社会にあって、家族の働き方は最重要課題であり、児童クラブの社会に果たす役割は十分に理解している。現況、狭隘化の現状は認識している。大津市教育委員会と連携して、隣接する幼稚園、小学校の教室の利活用を促進する。抜本的には、需要が多い東南部地域については新設の方向で対処したい。

#### 川内たかし氏

児童増加と狭隘化に対応するため、市の責任で施設整備を進めていきます。東近江市では、一人当たり1.65㎡の基準を満たすため、施設の新設や増改築も進められています。現市長は児童クラブの新設は行わないという方針ですが、これは改めるべきです。大津市として既存の施設の活用はもちろんですが、新設・増改築も積極的に進めます。

## (2) 保育の質維持のために公設公営(直営)を今後も続けていただけますか？ 回答受付順に左側から原文のまま掲載

児童福祉法の改正を契機に公設公営の機運が高まり、2001年から大津市では児童クラブ事業の直接運営が始まりました。これによって、一定レベルの施設と十分な研修を受けた指導員(市の嘱託職員)のおかげで、今では安心して子ども達を児童クラブに通わせることができ、仕事と家庭の両立が実現できています。しかし指定管理者制度の導入や民間の参入を進める自治体も増えており、大津市でも、病院や市場の民間委託が進んでいます。狭隘化を放置し続ける状態からは大津市が自ら手を出さず、民間の参入を待っているのではないかと感じます。このままでは大津市が責任を持ち、子どもたちが健やかに育つ保育の質を保障するという、他の市町村にも自慢できる体制が崩れないか大変不安です。公設公営(直営)の児童クラブをこのまま存続していくのかお答え下さい。

### かわもと勇氏

現大津市政の安直な民間委託化には反対の立場からの立候補であり、現行の公設公営(直営)の維持に努めます。しかし土地の確保が困難な場合は、社会福祉法人などに協力を求めることもやむを得ないものと考えます。

### こし直美氏

現状、大津市にある公営児童クラブを民営化する必要はないと考える。各家庭・学校の場所や、兄弟姉妹の状況によっては、保育機能を満たすために民間が参入してくることでニーズに応えられる部分もある。一方で、ニーズが急激に増加する地域では、すでに保育園などを運営している社会福祉法人などに、学童併設を促していくことをこれまで行っている。今後も現状を維持、また向上させるべく、民間と公共の児童クラブで地域の児童クラブのニーズに応えていくべきである。

### つただ恵子氏

現行の公設公営(直営)方式を維持しながら、保護者のニーズには柔軟に対応したいと考えている。

### 川内たかし氏

民間児童クラブについては法改正のもと、規制緩和により株式会社が経営主体となる児童クラブ参入の動きもあります。私は、このような動きには反対です。大津市の児童クラブは、市民の皆さんの運動の中で他府県と比べても質の高い保育を実施されてきています。この大津市が目指してきた内容を後退させることなく、公設公営を堅持します。

## (3) 指導員不足を解消できますか？

現状、大津市の「児童クラブ運営指針」に定める指導員の配置人数を満たしていない児童クラブが多数あります。ひとりひとりの子どもの心に寄り添う保育を実現するためには、適切な指導員の配置が必要なことは言うまでもありません。狭隘化のために指導員の心身の負荷が高まった結果クラブを去る指導員もおり、残された指導員の負荷がさらに高まるという悪循環を引き起こしています。指導員不足は保育の質低下に直結する課題なのです。募集チラシを貼るだけでなく、「放課後児童支援員等処遇改善等事業」の補助金を利用した待遇改善や、柔軟な雇用システム、用務員の配置による職務分掌の見直しなど、打てる手立てもあると思います。指導員不足の原因分析と分析結果を元にした施策案をお示しください。

### かわもと勇氏

保育や介護をはじめ福祉関係職員の確保と質の向上は、行政の最大の課題と認識しています。学童保育現場のみなさんと十分なコミュニケーションを図りながら、ともに指導員不足の解消に努めます。「かわもと勇」は「もっと元気!」「もっと大津!」を合言葉に、3つの約束をしています。その1番が「各地域をコミュニケーションいっぱいのまちにします」です。児童の安心と同時に保護者の安心のため、みなさんとともに汗を流します。

### こし直美氏

指導員不足の解消のためには、今の指導員の処遇を改善していかなくてはならない。児童クラブで過ごす子どもの保育の質を高いものにしていくために、様々な補助金を活用し、市の嘱託職員の給与ベースアップによる待遇改善、施設環境の改善などに積極的に取り組んでいく。

### つただ恵子氏

保育園の増加と預かり児童の増加、結果としてのクラブの狭隘化、指導員の勤務状態の悪化と負のスパイラルが進行している事実は認める。指導員(嘱託職員)については、職務分掌の見直しをはじめ、出来る限りの待遇改善に努める。

### 川内たかし氏

保育の質を確保する上では、人材の確保が決定的に重要です。指導員不足の原因は、劣悪な賃金・労働条件にあることは明らかです。放課後児童クラブ開所時間延長支援事業の補助金等を活用し、賃金・労働条件の改善を図ることが必要です。また、期間募集の指導員も含め、募集方法の改善も必要です。見直しをもって指導員が確保できる募集方法に改めます。